



都立石神井高校
同窓会広報誌
「きずな」
第64号
2015年7月発行

もくじ

| | |
|------------------|--------|
| 定期総会・懇親会のご案内 | 表紙 P 1 |
| ご挨拶 | P 2 |
| 幹事会、同窓会の輪、67期卒業式 | P 4 |
| 母校近況 | P 5 |
| きずなを訪ねて／吹奏楽部（石吹） | P 6 |

| | |
|-----------|------|
| 投稿 | P 8 |
| 総会議案資料 | P 13 |
| 同期会・OBOG会 | P 17 |
| 同期会・事務局便り | P 19 |
| 東京校歌祭報告 | P 20 |
| 裏表紙 | P 20 |

今年で創立75年 それぞれの思い出が残る母校に出かけませんか

2015年度定期総会と懇親会のご案内

【日時】2015年9月26日（土） 13:00～ 定期総会／14:00～ 懇親会

【会場】総会：母校4階視聴覚室「黒菱ホール」／懇親会：母校1階カフェテリア

【懇親会参加費】1,000円（63～67期生は無料）

懇親会では石吹OBと現役生とのコラボ演奏などを予定。

懇親会からの参加も歓迎です。ご家族、同期、部活メンバーを誘ってどうぞ。

◆若い世代の同期会を補助します…62期より若い方が懇親会出席の後に同期会を開催の場合、同窓会から補助をしますのでご連絡ください。20名以上の同期会に2万円補助いたします。

100年の歴史を重ねてこそその伝統校

校長 川嶋 直司



石神井高校の平成27年度がスタートしました。今年の入学生は第70期生。府立第十四中学校から75年の歴史を積み重ねてきたことになります。

今年10周年を迎える学校、昨年40周年を終えたばかりの学校、それぞれの時代の要請に応じ、児童・生徒数の変動に合わせて、都立高校は開閉校を重ねてきました。本校は、そんな中であって、75年の歩みと歴史を積み重ねることのできた伝統校と言えます。

多くの都立高校は、受験競争の激化の中で、大学受験に特化した私立高校との競争に飲み込まれ、特色を打ち出せず、苦勞をした時期が長く続きました。石神井高校も例外ではありませんでした。形式的な文化の継承はできていても、どこかが、何か違っていました。

先輩たちの時代のような、進路実績には及ばないものの、地域から石神井に生徒を託しても良いと思ってもらえる学校に、今また近づこうとしています。継承ではなく、伝統を創造できる学校として、100年の歴史を何事もなく通過していける学校であるために、今年も力強く前進します。

伝統校のさらなる発展へ

副校長 福田 洋三



4月に杉並高校から転任してきました。練馬区に住んで20年近く経ちます。本校と前任校は、自主・自律、文武両道と似たような校風を持っています。

本校は特進クラス・土曜授業や制服などの改革を進めて、今年度の入学生から、3学年揃った生活指導と新教育課程で、伝統校として75年目の歩みを始めました。

今年の入学選抜では、本校の改革への努力が実を結び、高く評価されて、最近3年間の入学選抜では最も高い応募倍率でした。前任校からこの応募倍率を見ていて、羨ましく思っていました。着任してみて、落ち着いた学習環境、生徒が熱心に授業に取り組む姿勢、様々な整備された丁寧な指導体制、活気ある学校行事と部活動、明るくきれいな校舎・施設、そして先生方がみな協力して新しい石神井高校を発展

させようとしていると感じました。

今年度は「夢・希望そして確かな現実への挑戦！～石神井力はあなたの自分探しを全力で応援～」を本校の標語として掲げています。指導体制が整い、入学生の学力が向上する中で、生徒がより高い進路目標に挑戦し、達成できるように指導内容の一層の充実を図ることが大切であると思います。また、部活動の一層の振興をめざし、東京都の「オリンピック・パラリンピック教育推進校」に指定されています。2020年の東京オリンピックに向けて、東京都は、教育の様々な取り組みを行っています。英語の授業を外国人指導員とともに行う時間を大幅に増加します。本校は、8月から、JETプログラムによる新しい英語指導員が配置されます。英語力の強化は、上位の大学進学では重要です。

前副校長先生のと時から発行された募集対策用の学校便り「石神井ニュースター」の充実とホームページで学校の近況を伝えることも行っていこうと思います。

校庭の植栽と生徒の成長が楽しみ

経営企画室長 小西 直子



昨年度は植栽したばかりで弱々しかった正門生垣(レッドロビン)がきれいに色づき、可憐な花も咲かせています。1年の

すが、美しい花で楽しませてくれる一方で害虫が付きやすく落ち葉のお世話も必要です。

経営企画室では様々な角度から教育環境を整えるための業務を行っており、今年度も先生方や生徒達とコミュニケーションをとりながら元気に取り組んでいます。引き続き公開講座も計画しておりますので、是非ご参加くださいませ。お待ちしております。

成長があまりに素晴らしく、毎朝はずむ気持ちで前を歩いています。石神井高校のサクラは64本ありま

(都教委のHPからもお申込みできます)

同期会の開催の願いと生徒たちへ支援の強化について

同窓会会長 大久保 利一



私は17期生で、昭和40年1965年に卒業しました。今年、3月に67期生の卒業式に参加して、卒業後半世紀を経たことをしみじみと感じました。皆

ご支援もさせていただきます。同窓会HPからのご連絡をお待ちします。

さて、同窓会活動は現役の生徒たちへの支援も大きな使命です。数年前に教育支援基金を募らせて頂き、これまで「きずな」でもご報告しているように、生徒や学校からの依頼を審議して生徒たちの英語学習や、テント、照明機器の保守など学習や部活の支援に提供させていただきました。本年は伝統の体育祭の応援のための女子用応援着を提供させていただきました。伝統の応援歌も以前のテンポに戻ってきたようなので、昔の様な体育祭の応援風景が再現できるのではないだろうかと考えております。

様も卒業10周年、20周年、1/4半世紀(25周年) 30周年、40周年と迎えられることと思います。ぜひ同期会を開催して皆さん方の旧交をあたためてください。その際には同窓会に相談いただければ同窓会からの

母校鳥瞰 2015年 5月



各期幹事の皆様へ

—幹事会からのお知らせ—

幹事長 高尾 宏一(高校25期) 副幹事長 荒川 英彦(高校25期)

「本格的に活動します」と言いつつ、何もできなかった一年でした。幹事の皆さんにどう連絡を取ればよいかを考えた一年だったかもしれません。

同窓会の連絡先は皆さんご存知の通り、050-3736-9409です。ただし、電話番号があるわけではありませんので、誰かのところへ転送もしくは留守番電話へとなるわけですが、そこからさらに幹事会へ転送というわけにもいきません。そこで、

幹事会宛のメールアドレスを作りました。今のところ幹事長が確認することになりますし、皆さんへ配信することもできないのですが、アドレスが集ってきたら連絡を取り合えるよう工夫をしたいと思いますので、「幹事だったような気がする」方も含めて、お気軽にメールを入れてください。

Kanjikai.shakujii.high@gmail.com

(幹事会専用アドレス)

「同窓会の輪（同窓会連絡協議会）」の状況

会長 大久保 利一

数年前から石神井高校など都内西部の高校の同窓会が集まって同窓会運営に関わる問題点の共有、情報交換を進めてきました。石神井高校同窓会は世話役として新たな参加校への働きかけや、会議の司会などを進めてきました。昨年度の主な議題は、本年石神井高校同窓会でも作成します、名簿の扱いの各校での状況の交換、および生徒への支援の仕方についての情報の交換を行いました。同窓会名簿は、振り込め詐欺の一つの要因とも言われていますが、同窓会会員同士の同期のみでなく、上下の消息の確認のためにも大変重要なものです。

廃止してしまった同窓会もありましたが多くの同窓会では名簿の取り扱いを含めて色々な知恵を出して作成しています。これらの知恵を借りながら今回も発行にこぎつけました。

学校・生徒への支援では授業料の無償化は進んでも、支援の必要な生徒はいるために奨学金のための基金を持っているところもあり、今後教育支援基金のあり方を含めて同窓会として検討していく必要があるものと考えています。今後も同窓会の輪を通じて、同窓会活動の活性化を図っていきたいと考えています。

卒業式に列席して

副会長 勝見 鈴代

2015年3月7日第67期の卒業式に列席しました。思い思いの晴れやかな衣装で入場した生徒たち……。式が進み卒業生の言葉、そして卒業生の歌と続くと、あちらこちらで涙、涙。会場いっぱいの拍手におくられ、感無量の様子の担任の先生と一緒に卒業生が退場。C組の退場の時です。

担任の先生が起立した生徒に「回れ右!!」と声をかけました。生徒は、回れ右をして、父兄の皆さんに「ありがとうございました!!」と礼をしました。とても感動的なシーンでした。いつものこ

とですが、心の中で「石神井っていいな」と思い、ほろりとしてしまうのでした。



写真は母校ニュースレターから：卒業生による保護者への感謝の歌

母・校・近・況

男子146人女子132人が入学(70期)、67期の268人が巣立ちました

2月26・27日に推薦選抜、2月24日学力選抜が行われ、男子146名、女子132名の計278名が70期として石神井高校に迎えられました。石神井の人気は高く、都立高校の中でも上位にランクされる入試倍率ですが、今回は過去3年間で最も高い倍率でした。

| 平成27年度入試倍率 | | |
|------------|-------|-------|
| | 男子 | 女子 |
| 推薦 | 4.48倍 | 4.88倍 |
| 学力 | 1.50倍 | 1.79倍 |

また3月の67期卒業生は制服着用ではない最後の学年。今年からは全学年が制服になります。卒業生の進路は右のとおりです。

| 平成26年度卒業生（67期生） 進路状況 | | |
|------------------------------|------|----|
| 四年制大学 | 177名 | |
| 短期大学 | 9名 | |
| 専門学校 | 42名 | |
| 公務員 | 2名 | |
| その他 | 38名 | |
| 四年制大学 合格者数（延べ人数） | | |
| 現役 | 浪人 | |
| 国公立大（首都大学東京、埼玉、茨城、福井県立、海上保安） | 5 | 0 |
| 早慶上理（早稲田、慶応義塾、上智、東京理科） | 3 | 3 |
| GMARCH（学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政） | 31 | 16 |
| 成成明武国文（成蹊、成城、明治学院、武蔵、國学院、文教） | 37 | 10 |
| 日東駒専（日本、東洋、駒沢、専修） | 72 | 8 |
| 体育系（順天堂、日本体育、東海） | 15 | 0 |
| その他 | 223 | 22 |

今年も、都の「オリンピック・パラリンピック教育推進校」の指定校に

石神井高校は昨年に引き続き東京都教育委員会から指定を受け、次のような取り組みを行っています。本校生徒に対しては ①体力増進、スポーツへの興味関心を高める ②オリンピックの理念と歴史、文化等を学ぶ。校外に対しては ①中学生へ向けてスポーツ・部活動体験の実施 ②一般の方に向けては文化祭で発表展示の実施。

7人制ラグビー「Y.C&A.C 高校セブンス」で全勝優勝

2016年リオデジャネイロオリンピックから正式種目になる7人制ラグビー。3月29日に横浜で開催された高校対抗戦で、石神井は湘南、桐朋、松陽を制し見事優勝しました。なお、この対抗戦の参加に際しては同窓会が教育支援基金でサポートしています。

その他 母校の最新情報は、石神井高校ホームページをご覧ください

<http://shakujii-h.sakura.ne.jp/>

教職員の異動（平成27年度）

27年度（2015年度）

転出者

| 教科 | 氏名 | 異動先 |
|-----------|-------|-----------|
| 副校長 | 栞原爾 | 田柄高校（副校長） |
| 国語 | 徳永桃子 | 大島高校 |
| 国語 | 栞原寿安 | 退職 |
| 数学 | 内藤久美子 | 武蔵野北高校 |
| 数学（非常勤） | 加藤洋二 | 退職 |
| 理科（生物） | 橋本瑠美子 | 南多摩中等教育学校 |
| 英語 | 井坂富美子 | 退職 |
| 理科実習（非常勤） | 鳴海マミ | 大泉桜高校 |
| 理科実習（非常勤） | 櫃本真美代 | 退職 |
| 企画室 | 石川牧子 | 鷺宮高校 |

転入者

| 教科 | 氏名 | 前任校 |
|-----------|-------|---------|
| 副校長 | 福田洋三 | 杉並高校 |
| 国語 | 石川大貴 | 新規採用 |
| 国語 | 石岡里志 | 北豊島工業高校 |
| 国語（非常勤） | 山川裕子 | 調布北高校 |
| 数学 | 森田深雪 | 文京高校 |
| 数学（非常勤） | 中田政美 | 小平高校 |
| 理科（生物） | 小笠原至玄 | 松原高校 |
| 理科実習（非常勤） | 松本隆 | 新宿山吹高校 |
| 理科実習（非常勤） | 小窪みほ | つばさ総合高校 |
| 企画室 | 雪下雄也 | 新規採用 |

きずなを訪ねて：吹奏楽部「石吹」

先生、生徒、OB、OG、ご縁のある方…みんな「石吹」

●はじめに「石吹」とは

「石吹」紹介のチャンスをいただき、まことにありがとうございます。石神井高校吹奏楽部から「石」と「吹」を取り出しました。本稿以後、現役吹奏楽部員、顧問および関係された先生方、すべてのOBG、校歌祭や同窓会イベントなどで、一緒に校歌を演奏して下さるみな様を総合して「石吹」と呼ばせていただくことをお許しください。

●「校歌」と「石吹」のバックグラウンド

石神井高校は、世界的モーツァルト研究者の海老沢敏先生、世界的トランペット奏者の田宮堅二先生はじめ、多くの演奏家・音楽家を輩出しています。現在、現役の指導に都公認指導員として尽力されている尾崎寛尚氏(高校32回生)は、ウィーンにて、世界的指揮者の故オットマールスイトナー先生ほかに師事されました。

本誌巻末に「校歌祭」の記事が掲載されていますが、「校歌」は「石吹のきずな」に不可欠のアイテムです。

作曲者の渡部和雄先生は、東京芸大作曲科出身で石神井高校の音楽科教諭です。作詞の高田久寿先生(写真右)も、石神井高校英語科恩師です。校歌を吹奏楽にアレンジされた河西保郎先生(石神井高校から洗足学園音楽大学教授)は、合唱指導者・作曲家としてとりわけ著名であり、わが国音楽教育において重責を果たされました。



「石吹」の成長は、河西先生との出会いから歩を始めたといえます。むろん、「石吹」誕生から河西先生へとバトンタッチして下さった宮瀬重美先生(石神井高校から埼玉大・日本女子大教授)はじめ、「石吹」成長の過程は、音楽教育界屈指の先生方が石神井で教鞭をとられていることで担保されておりますことはあらためて記すまでもないと考えます。

「緑なす ここよ武蔵野」そして「石吹」の壮大な背景に、あらためて感謝するものです。

●石吹は「永遠だっ！」

石吹OBGは、700名に達します。多士済々、プロおよびアマチュア楽団(吹奏楽団、オーケストラなど)の枢要なプレーヤーがいます。著名な作

編曲家もいます。演奏から離れても、音楽業界で、あるいは音楽とは異なる領域で活躍しているメンバーがいます。そんな多様なメンバーが、後掲「サイクリング部」のように吹奏楽とは異なるフィールドで「石吹のきずな」を実践する動きもあります。

現役の活動においては、部員数100名以上すなわち全校生徒のほぼ10人に1人が部員であったこともあり、いっぽう部員数一桁、さらには学年で部員1名ということさえありました。まさに山あり谷あり、紆余曲折ありです。けれども、いつもOBGが現役をサポートし、OBGとしても定期演奏会やコンクール(一般の部)に参加するなどして、「石吹のきずな」はますます堅固に、錬磨されています。それは、上記にてご紹介したバックグラウンドあつてのことと考えます。「石吹のきずな」は永遠です。

●定期演奏会について

「石吹」の定期演奏会は、「創設」4年目に、起源を求めることができます。

1972年、体育館の床に校舎の渡り廊下のスノコを積んでひな壇ステージを作り、コンクール課題曲などもプログラムに加え、コンサートをを行いました。体育科の寺沢先生から「よく訓練されとる」とのご評価をいただきました。

写真は1978年3月、中野公会堂(現中野ZEROホール)にての校外での第1回定期演奏会です。



現役メンバーを中心としつつもOBGの賛助を得ることで、より芳醇な音響を醸すとともに「石吹のきずな」を確認・強化できました。石吹の定演が、いわゆる卒業記念コンサートとは異なっていた所以です。2015年3月23日、第37回定期演奏会を“こもれびホール”(西東京市)にて盛会のうち遂行しました。2016年、第38回定期演奏会が開催される予定です。「石吹メンバー」大集合となりますよう、ふるってご来場ください。

●コンクール参加の意義

現役に限られるステージに、都高吹連コンクールへの参加があります。野球などのスポーツも同様と思われませんが、設備や指導陣の充実した私立学校が、好成績を獲得する確率が高いなか、「石吹」は、諸条件・環境が整わない中で創意と工夫を重ねた、他校と一味ちがう演奏で好評を得ております。30年前、吹奏楽の専門誌「バンドジャーナル」に、(コンクールで聴いた)「石吹」の「コンサートを聴いてみたい」との記事が掲載されました。「ローマの祭」(レスピーギ作曲)を自由曲とした年です。コンクールでは制限時間があるので一部分を演奏しただけでしたが、定演(杉並公会堂)では全曲を演奏しました。投稿者が聴衆の中にいたかどうかは、未確認のままですが、従来から「石吹サウンド」への支持があることは間違いありません。2014年のコンクールでも、吹奏楽の名曲中の名曲「リシルド序曲」(G.パレ作曲)を演奏し「石吹サウンド」の継承が確認されました。2015年1月のアンサンブルコンテストでは、参加

した2チームともに銀賞を獲得しました。30年余を経過しても、明瞭で純正な「石吹サウンド」は、輝き続けています。その根源に「石吹のきずな」があります。

●おわりに

現役諸君には、今後とも「石吹」の伝統に誇りと確信を持ち、「石吹のきずな」をより強固なものとするべく、熱く活動し、「石吹サウンド」および都立高校吹奏楽部のあり方を内外に示して欲しいと願います。われわれ「石吹」OBGは、引き続き現役諸君のサポートとともに、「石吹のきずな」をより確固とするためより多様に活動を展開してまいります。

同窓会活動に多くの貢献ができるよう、「石吹メンバー」みんなで、組織を挙げて精進してまいりましょう。引き続き関係各位のご教示・ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

木村好一 高校24回(石吹3期)

神田雅史 高校59回(石吹38期)

「自転車はブルースだ!～忌野清志郎～」

昨今の自転車ブームに対し、もはや世間はこれに異を唱えることができなくなったのは言うまでもなく、吹奏楽部のOB会という組織においても、サイクリング部が発足することは、水が川に流れる如く自然の出来ことでありました。

自転車という川に流れる木の葉達は、下流に向かうにつれ穏やかな速度となり、流れが淀んできたところに渦に巻かれて集まっただけなのです。ただ、その淀みの名前がたまたま「石吹OB会」であったことは偶然、いやもしかしたら自然の摂理からいうと、必然だったのかも知れません。

そんな淀みに溜まった自転車好き達は、早速、皆でポタリング(皆でお散歩感覚で自転車に乗ることを)をしようと考えました。ですが、そこは石神井高校吹奏楽部。準備の段階も楽しくて。。。



仕事の中に名前を考え、仕事の中にSNSのページを作成し、仕事の中にロゴマークを考え、ついには仕事の中に揃いのジャージを作成するまでに至りました。驚愕なのは、ここまでの段階で、まだポタリングどころか、自転車に跨がってもおりません。そう。

なにせ、準備が楽しいものですから。

その楽しい準備も完璧になった頃に、謎のロゴマークを背負った揃いのジャージを着て、老舗のクラブ活動然とした顔して小平駅前集合したのであります。その日、そんな謎の軍団が向かった先は、後にホームグラウンドとなる所沢は多摩湖。小平からサイクリングロードを走って、到着した多摩湖を周回し、薔薇のガーデンレストランでランチタイム。黄昏時の優雅な時間を過ごし、気がついたら自転車に乗っている時間より、休憩している時間の方が長いという事態。でも気にしません、なぜならそれが石神井高校吹奏楽部の伝統ですから。(その昔、吹奏楽部は練習時間の後が長いと有名でした)

そして、今日も自転車部は首都圏近郊をポタリング。このマークのジャージを見かけたらお気軽にお声がけください。はあはあぜえぜえ、と息切れでお返事いたします!

石吹OBサイクリング部 部長 森美夏
(高校58期・石吹37期)



13期元気報告

鬱病、脱毛症で人生の大転機襲来 役者人生に光明

磯田 保文(高校13期)



石神井から慶応義塾法学部、そして興亜火災海上保険に入社し、順風満帆の54歳の年、突如、人生の波瀾に襲われました。躁鬱症に陥り、円形脱毛症も併発、3か月後フサフサだった髪の毛が、「テカテカのスキンヘッド」に。人生

最悪の事態はアデランスのお世話になり定年までなんとか職務を全うしましたが、いつも思うことは、転職、自殺などマイナス材料ばかり。女房に言っても「いつ会社辞めても、いいわよ」の一言で、仕方なく会社人間していました。

そして、定年を期にアデランスと決別し、スキンヘッドを露にして第二の人生、そう、「役者の道」に進みました。若き日の夢、舞台、テレビで脚光を浴びたいという夢の実現のため、研究生として「劇団東俳」に入ったわけです。

ところが、何が幸いするかわからないのが我が人生でした。私のスキンヘッドに希少価値があったのでしょうか。東俳に入るまで演技経験ゼロの私にHNKの大河ドラマなどで「御殿医・僧侶」役に何度も選ばれる僥倖が続いたのです。「坂の上の雲」の撮影の時など、「スキンヘッド」だけがアップで写っていたものです。エキストラとしての出演が多い私ですが、セリフのあるキャストとして名前が出るのが何度かありました。実にありがたいことで、スキンヘッド様様です。

いつの間にか「鬱」は消え失せ、今や私のことを「鬱病」と思う人はいない反面、「躁」状態の「怪俳」と硬く信じている人が多い状況です。

芝居、演劇は役を演じることで、自分が役に化け、

役の気持ちも理解し、それが難病さえ退ける恐ろしい力をもっているのかも。

お蔭で劇団の女性に次々と「軟派攻勢」をかけても「躁」という病い故の所業と寛大な計らいがあり、助かっています。演劇を楽しみながら、女性に気軽に声をかけられるのも「躁」のお蔭です。本当に「人生に遅すぎることはない」「人生はいつもこれから」だと思う今日このごろです。



劇団から栄えある「第4回藤野賞(2014年度)」をいただきました。左は劇団東俳の藤野代表。

古希(70歳)を期に「ドーナツ屋」に「ヘンシ〜ン」

長常 祐(高校13期)

私は、昭和41年大学卒業後群馬県太田市の会社に就職し50年近く太田市に在住しています。サラリーマン生活を11年、昭和52年に塗装会社を創業

し以来35年間会社を運営してきました。

古希を迎えた年、会社を子供(男3人、女1人)に任せ新たな道を歩き始めました。それは何かと



いえば、お菓子を作りたい気持ち。子供の時に食べた昔ながらのドーナツでした。おかずになる料理は何十～何百と作ったがお菓子は一度も作ったことがない。

料理学校、レシピ本など一切勉強したことがない。作った料理は過去に

食べた料理を自分なりに作り変えたオリジナルなものばかりだ。

今作っているドーナツも突然3年前に思いついて作り始めた。◎だけでなく、三、四、五、六角形+星の6種類で1パック売り。レシピは全て自分で考え出したものだ!!

約1年間試行錯誤して配分比率を作ったが、その後も気温、湿度など四季に合わせた配合比率は生地作りに欠かせない。

私が作るドーナツは地産地消に拘って群馬県産

の地粉、牛乳、玉子を主原料として添加物を使わないヘルシードーナツ作りにチャレンジしている。出来たドーナツは手に油が付かない。1つ食べたなら、また1つ食べたい欲望が自然に湧いてくる。

今現在、数種類の生地をアレンジし、10数種類のドーナツを作っている。お客様の要望によるオーダーメイドも受けています。

(電話0276-47-3339)



↑写真上から：生地づくり1、生地づくり2、生地づくり3、揚げ

<13期お二人の写真をご紹介します>

↓ 森義信さん 徳島写真コンテスト2015優秀賞作品



←「お遍路」

↓ 自転車で日本一周を達成した秋山奉由さんの作品



→琵琶湖



→富士山

ナンバースクール物語

佐藤 健 (高校3期)

いわゆる「ナンバースクール」とは、戦前・戦中に設置され、認可順に第一、第二、・・・という名称がつけられた府立・都立の男子中学校と高等女学校の合計46校の総称である。

これには異論があって、男子校なら一中から十中まで、つまり「いっちゅう」「ごちゅう」などと呼び慣れた学校に限定すべしという意見もある。1桁中学とも言われた。余談だが、「十中」がなぜ1桁かというと、正式には漢数字で表記したからである。

それはさておき、最も早く設置されたのは一中(現日比谷)で、1878年(明11)である。一方、最も遅い設置は、1943年(昭18)の二十三中、二十四中、二十一高女、二十二高女の4校。気の毒なことに、戦争末期に慌ただしく誕生したこれら4校のうちの3校は、独自の校舎を持つこともなく、戦後間もなく他校に統合されてしまった。

目をひくのは、1940年(昭15)の前後数年間の設立ラッシュである。表向きの理由は、皇紀二千六百年(神話に基づく日本独自の紀元)奉祝事業となっているが、実情は激化する受験競争を緩和するためであった。ここで男女とも11番目となる府立十一中、十一高女以下が続々と誕生した。わが母校もこの中にあり、14番目として十四中が設立時の名称となった。

また余談だが、この時期のナンバースクールは世間の評価が高く、小学校で1番～5番くらいの学力がなければ入学できず、あの制服(大抵は軍服をマネたカーキ色)は憧れの的だったことを言っておきたい。

ところが、なじみの薄い2桁校名では分かりにくいということで、地名などの固有名詞に変

更すべしという文部省政令が出た(1941年)。母校も十四中から石神井中と変わったわけである。

母校の所在地は「板橋区関町」であったから、常識的には「府立関中」であるべきだが、この地域は板橋区から分離される動きがあり(実際に分離したのは1947年)、新しい区の名称を頂戴することを望んだ。しかし、新区名が決まっていないので、やむを得ず有力候補の「石神井区」に賭けたという。練馬区になるとは考えもしなかったようである。

戦後になると、占領軍の教育行政に翻弄されながら学校制度は大転換し、旧制中学は新制高校へと変わって行った。つれて、校名は変遷し、1桁校名も固有名詞に変えられた。これにより、ナンバースクールの栄光は過去のものとなっていくのである。

最後に校歌祭について触れよう。出場校は立川、両国、戸山、小石川、新宿、墨田川、小山台、西、江北、千歳、豊多摩、石神井、九段、文京の14校。つまり、昔の一中から十四中までのうち、一中と九中を除く12校と市立一中、三中の2校で計14校(他に商業系2校)となっている。ナンバースクールのノスタルジイに見える。事情もあることだろうが、元女子校と戦後発足した学校が皆無なのはいかがなものか。

参加校を増やし、予選を実施する。そうすればメディアも注目する。さらに全国展開して「校歌の甲子園」ともなれば言うことなし。母校にも甲子園出場の間があるかもしれぬ。こんな夢まぼろしのようなことを思いつつ筆を擱く。

石井忍さん(10期)から野球部の貴重な史料をいただきました

野球部OBで監督だった石井さんから、同窓会宛に、昭和32年の対早実戦のスコアブックなど当時の史料のご提供を頂きました。石井さんのお手紙と史料の一部をご紹介します。

都立石神井高等学校関係各位様
 私は昭和三十年に入學したオヤロウの石井忍と申します
 高校在学中は硬式野球部に籍を置き卒業後の
 昭和三十六年、三十七年に文芸在中に石神井高校硬式野球部の
 監督と致しました。
 石神井高校野球部は都立高校としては有数の歴史が
 残っていました。特に私が在学中の昭和三十三年には
 春の甲子園選抜大会で優勝した早実と三試合を行
 互角の試合をしました。塚本佐久南の両投手が健闘して
 高い評価を受け夏の都大会でもかなり期待できるといわれて
 いましたが、三回戦で敗退しました。早実と練習試合で
 早実の切り札王選手との対戦では二十の三振と奪われ、王選手
 二本の三壘打で三対一と敗れました。改めて王選手の遠大なる
 感じはものです。その時のスコアブックがあまり手元におぼろげです。
 私が監督になろう二年目に石神井高校は好選手が揃った
 チームとなり私立の有為高校から練習試合の申し込みが多く
 断るのに苦労する位、高い評価と期待を受けました。
 結果はベストエイト準決勝まで進みましたが、甲子園春の準優勝校。
 日大三高に敗れました。その時々の記録が私の手許にありませんが、
 文武両道の石神井高校の歴史の一片として残して置ければ
 幸いです。

平成二十六年九月二十七日
 石井忍



| 大会名 | 練習 | 試合 | 球場 | 天候 | 勝利投手 | 敗戦投手 | 記録者 |
|-----|----|----|----|----|------|------|-----|
| 早実 | 早実 | 早実 | 早実 | 早実 | 塚本 | 塚本 | 田口素 |

| 打者 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 合計 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|
| 早堀 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 左 林 崎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 左 王 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 左 相 沢 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 左 野 荒 川 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 左 内 山 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 左 飯 田 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 5 大 五 久 徳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 2 古 田 田 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

石神井高 対早実戦 昭和 32年 7月 17日

| 打者 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 合計 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|
| 1 5 大 五 久 徳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 2 古 田 田 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

三戸 孝先生 お別れ会

去る2月1日、昨年12月22日に老衰のため永眠された三戸孝先生（享年87歳）の「お別れ会」が小田急ホテルセンチュリーサザンタワーで開かれました。ご家族6、大泉教え子24（14期）、石神井教え子60（16期5、17期2、18期10、20期1、29期7、30期14、32期1、37期5、39期15）、旧職員（大泉1、石神井8）、社会人3（社会人教育：三

戸会）…計102名が集まり和やかな会となりました。



三戸 孝先生の思い出

上野 二三一（高校18期／教え子・元同僚）

私は石神井高校の18期生です。卒業してかれこれ半世紀が経ちました。昭和38年に入学した頃の石神井はおんぼろの木造校舎で、初めて見に行った時は焼け落ちた図書館が痛々しく残されていました。服装は男子が詰め襟学生服に学帽、革靴、女子は紺の上着にスカートと決められていました。

団塊の世代の私たちは、1クラスの人数が55人で10学級、今から見ればとんでもない学年でした。そんな中でも多くの人が青春のハイライトに高校時代の3年間をあげるのと同様に私にとっても石神井は、かけがえのない人々との出会い、サッカーに打ち込んだ日々など、まさに青春そのものがありました。先生方には、ガントレのガンちゃんや石木先生を筆頭に多数の名物先生がおられました。

三戸孝先生は18期生の担任のお一人でしたが、私は担任していただいたことはなく、3年の時に世界史を教わりました。当時の先生は30歳代の青年教師で、自由と自主性を尊び、生徒目線で物事をとらえ、気安く接してくれる先生でした。そしてこの姿勢は先生の生涯を貫くものだったと思います。

授業でも理路整然とした語り口が魅力的で、歴史の必然性といったものを分かり易く解説し、私たち生徒を納得させてくれるものでした。また「アラン・ドロン」というニックネームがつくほどイケメンで女子生徒に圧倒的な人気がありました。多くの生徒が三戸先生を敬愛し、私も三戸先生の

世界史が大好きで、先生に褒めてもらいたくて試験も頑張りました。

やがて私は都立高校の教師となって昭和53年に母校に赴任しました。その時三戸先生はまだ石神井にいらっしゃいました。当時は34群と呼ばれた学校群の時代で、石神井生



石神井の「アラン・ドロン」がそのアイデンティティを形成する体育祭が華やかでした。体育祭の経緯については三戸先生が校誌にお書きになった記事が「石神井の50年」に収められています。

またあるとき暇つぶしに社会科の職員室を訪ねて先生と雑談していたとき、ヘルメットやスピーカーを出してきて、高校紛争の苦勞話をしてくれたことがありました。この辺りにも生徒との対話を通して自主自律の校風を作り上げてきた石神井の先生方の気概を感じ取る事が出来ると思います。

最後に、その頃職員の親睦を兼ねてよく野球をやりました。職員チームのユニフォームも作りました。三戸先生は監督兼プレーヤーで、対外試合も行い本当に楽しい時間でした。

その時のユニフォームが、教え子たちが企画したお別れ会の会場に飾ってありました。背番号は90、三戸先生らしく「孝の90番を長嶋が借用した」とありました。

会員各位

東京都立石神井高等学校同総会
会長 大久保利一2015年度定期総会のご案内

2015年度の定期総会を下記により開催します。ご多用のところ恐縮ですが、万障繰り合わせてご出席くださるよう、ご案内申し上げます。なお、本総会終了後に例年通り簡素ながらも盛大な懇親会を行いますのでご参加くださるようお願いいたします。同期会、クラス会を開催されることもお勧めします。

2015年度定期総会 議案資料

1. 開催日時：2015年9月26日土曜日13時
2. 開催場所：母校4階視聴覚ホール(黒菱ホール)

議 題

- 第1号議案 2014年度事業報告
第2号議案 2014年度収支報告
第3号議案 2015年度事業計画
第4号議案 2015年度収支予算
第5号議案 役員改選

報告事項

- 1 教育支援基金
- 2 その他

第1号議案 2014年度事業報告

- | | | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 4月8日 | 母校入学式に顧問、会長、副会長列席 | 場一致で承認。懇親会は約50名の同窓生が参加。石吹OBと現役生徒によるコラボ演奏会もあり和やかに開催された |
| 13日 | 同窓会連絡協議会(同窓会の輪)開催 井草、国立、大泉、新宿、武蔵丘、戸山、豊多摩、雪谷、白鳳、石神井が参加：各校の状況報告、情報交換、更なる協力体制が話し合われた。 | 10月12日 同窓会連絡協議会開催 |
| 22日 | きずな編集会議開催 | 20日 山寮協議会に出席(於 白馬村) |
| 27日 | 役員会開催(きずな発行、総会関係) | 11月1日 校歌祭参加：杉並公会堂で開催。石吹OB、現役生徒とともに約50名が参加。終了後懇親会を開催し世代を越えた交流を図った |
| 5月31日 | 母校体育祭視察 | 15日 PTA主催の講演会で17期上野氏が講演 |
| 6月3日 | きずな編集会議開催 | 12月10日 67期卒業生に同窓会加入説明会を実施 |
| 21日 | 幹事会開催(66期歓迎会を兼ねて) | 11日 役員会開催(決算関係) |
| 27日 | 三者協議会懇親会開催(学校、PTA、同窓会)：懇親を深めるとともに更なる協力体制を確認 | 《2015年》 |
| 7月4日 | 役員会開催(きずな最終校正) | 1月28日 役員会開催(今期反省と来期計画関係) |
| 27日 | 同窓会連絡協議会幹事会開催 | 2月19日 きずな編集会議 |
| 9月20日 | 母校文化祭に参加：21日も含め、黒菱山荘を中心にした白馬村を紹介。NHK小さな旅で紹介された16期石田さん出演のビデオも上映。27期の新田晴彦氏の山荘や白馬の写真展も好評を得る。 | 3月7日 母校卒業式に顧問、会長、副会長が列席：会長祝辞、卒業生全員にお祝いの紅白饅頭を贈呈 |
| 20日 | 役員会開催(総会関係) | 24日 石吹OB O G と現役生徒との定期演奏会を視察 |
| 27日 | 定期総会・懇親会開催：議案はすべて満 | |

第2号議案 2014年度収支報告

2014年度（平成26年度）決算報告書
（2014年4月1日～2015年3月31日）

| 収入の部 (単位: 千円) | | | |
|---------------|----------|----------|----|
| | 2014年度予算 | 2014年度実績 | 備考 |
| 前期繰越金 | 9,881 | 9,881 | |
| 入会金 | 1,384 | 1,384 | |
| 年会費 | 4,500 | 3,356 | |
| 雑収入 | 50 | 119 | |
| 合計 | 15,815 | 14,740 | |

| 支出の部 (単位: 千円) | | | |
|---------------|----------|----------|-----------|
| | 2014年度予算 | 2014年度実績 | 備考 |
| 総会費 | 150 | 115 | |
| 本部費 | 600 | 738 | |
| 広報費 | 2,200 | 2,229 | きずな作成費 |
| 発送費 | 1,750 | 1,773 | きずな発送費 |
| 行事費 | 250 | 315 | |
| 山荘費 | 500 | 604 | |
| 新会員費 | 130 | 226 | 榮太楼饅頭、パンフ |
| 予備費 | 50 | | |
| 小計 | 5,630 | 6,000 | |
| 次期繰越金 | 10,185 | 8,740 | |
| 合計 | 15,815 | 14,740 | |

上記の通り、2014年度会計収支を決算して報告いたします
会計 上野 俊彦

上記会計収支決算を監査した結果、適正であることを認めます
2015年5月30日 会計監査 栗山 隆
会計監査 広瀬 由貴

2014年度（平成26年度）黒菱山荘会計報告
（2014年4月1日～2015年3月31日）

| 【収入の部】 (単位: 円) | | |
|----------------|---------|--------|
| | 金額 | 備考 |
| 助成金 | 500,000 | 同窓会助成金 |
| PTA助成金 | 50,000 | PTA助成金 |
| 宿泊費 | 338,000 | 宿泊費 |
| 受取利息 | 87 | 預金利息 |
| 計 | 888,087 | |

| 【支出の部】 (単位: 円) | | |
|----------------|---------|--------------------------|
| | 金額 | 備考 |
| 交通費 | 80,000 | 乗車券、特急券、高速道路料、リフト代他 |
| 通信費 | 32,412 | 電話代、切手、はがき、郵送料 |
| 水道光熱費 | 159,286 | 水道代、プロパン代他 |
| 会議費 | 96,407 | 月例会議、総会懇親会、山寮協議会懇親会費 |
| 会費 | 5,000 | 山寮協議会年会費 |
| 備品費 | 24,480 | 什器備品費、鍋釜等 |
| 修繕費 | 9,438 | 山荘設備修繕費用 |
| 雑費 | 77,063 | 汲取り代、ゴミ処理費、お土産、消耗品 |
| 借地料 | 150,000 | 借地料 |
| 山荘管理費 | 50,000 | 山荘管理費(対岳館) |
| 修繕準備金 | 204,001 | 黒菱山荘修繕準備金へ(2014年度一般会計残金) |
| 計 | 888,087 | |

第3号議案 2015年度事業計画

- 4月7日 母校入学式に顧問、会長、副会長が列席
(会長祝辞)
役員会開催（きずな関係）
- 22日 役員会開催（決算関係）
- 26日 同窓会連絡協議会（同窓会の輪）開催
- 5月30日 母校体育祭視察
役員会開催（きずな関係）
- 6月10日 きずな編集会議
- 7月1日 広報誌「きずな」発行
中旬 三者協議会懇親会開催予定
- 8月下旬 教師のための黒菱山荘ツアー開催予定
- 9月12日 母校文化祭に参加

- 26日 2015年度定期総会・懇親会開催
- 10月中旬 同窓会連絡協議会開催予定
- 11月3日 校歌祭参加（杉並公会堂）
下旬 68期卒業生への同窓会入会説明会開催
- 12月中旬 役員会、幹事会開催予定
《2016年》
- 3月 母校卒業式に顧問、会長、副会長列席
(会長祝辞、紅白饅頭を贈呈予定)

日程は予定ですので、変更することがあります。
その他、役員会、幹事会、ホームページ、きずな発行関係の打合せ会議は随時開催します。

第4号議案 2015年度収支予算

| 収入の部 (単位: 千円) | | |
|---------------|----------|--------|
| | 2015年度予算 | 備考 |
| 前期繰越金 | 8,740 | |
| 入会金 | 1,350 | |
| 年会費 | 4,000 | 寄付金を含む |
| 雑収入 | 100 | |
| 合計 | 14,190 | |

| 支出の部 (単位: 千円) | | |
|---------------|----------|----------|
| | 2015年度予算 | 備考 |
| 総会費 | 100 | |
| 本部費 | 600 | |
| 広報費 | 2,200 | |
| 発送費 | 1,750 | |
| 行事費 | 300 | 校歌祭、文化祭等 |
| 山荘費 | 500 | |
| 新会員費 | 200 | |
| 予備費 | 50 | |
| 小計 | 5,700 | |
| 次期繰越金 | 8,490 | |
| 合計 | 14,190 | |

第5号議案 役員改選

会長 大久保利一（高17期）留任
 副会長 勝見 鈴代（高20期）留任 企画担当
 副会長 久保内祥郎（高21期）留任 総務担当
 副会長 荒川 英彦（高25期）新任 幹事会担当
 副会長 板谷 方彦（高27期）留任 広報担当
 副会長 浦川 伸一（高32期）留任 山荘担当
 会計 上野 俊彦（高17期）留任
 書記 山下 章（高19期）留任

書記 早川 映（高23期）留任
 会計監査 栗山 隆（高12期）留任
 会計監査 広瀬 由貴（高39期）留任
 執行役員 石川 和寿（高9期）留任
 執行役員 橋本 恒夫（高20期）留任
 執行役員 中津川伸行（高20期）留任
 執行役員 泉水 裕二（高33期）留任

報告事項

教育支援基金運営状況および基金特別会計の収支について

2014年度教育支援基金事業報告

| 収入の部 | |
|-------------------------------|-------------------|
| 前年度からの繰越金 | 2,176,830 円 |
| 収入合計 | 2,176,830 円 |
| 支出の部 | |
| ブリティッシュヒルズ講習補助 | 150,000 円 |
| ラグビー部支援(第7回YC&AO高校SEVENS参加費用) | 50,000 円 |
| 支出合計 | 200,000 円 |
| 収支残高 | 1,976,830円 |

上記支援基金会計収支を監査した結果、
適正であることを認めます。

2015年4月7日 監査役 城 和裕

| 2015年3月31日現在の支援基金明細 | |
|-----------------------------|-----------|
| 修学旅行の講師お礼 | 50,000 円 |
| 校庭防御ネット | 420,000 円 |
| ブリティッシュヒルズ講習補助 | 730,000 円 |
| 地球ステージ講演会補助 | 33,300 円 |
| サテライト講座講習補助 | 750,000 円 |
| 部活支援 (水泳部、生物部、美術部、ラグビー部) | 285,000 円 |
| テント1張 | 232,470 円 |
| イギリス留学支援 | 360,000 円 |
| グラウンド照明柱電球交換 | 306,000 円 |
| パソコン1台 | 100,000 円 |
| カウンセラー派遣補助 | 35,000 円 |

2015年3月31日現在の残高1,976,830円に関しましては、学校側と協議の上母校発展のため、大切に用途を決めて参りますとともに、2016年度の広報誌「きずな」にてご報告申し上げます。ご支援を頂きました皆様に心よりお礼申し上げます。

ブリティッシュヒルズ講習に参加した生徒たちからは、「今年も参加して、昨年よりリスニングが出来るようになり成長した自分を感じた」「高校を卒業したらカナダに留学したい」等なお礼の言葉が沢山寄せられました。

なお今年度の支援として、体育祭の伝統の継続を目的に応援リーダーの剣道着と袴の寄贈を行いました。その経緯と体育祭の現状について、高校39期で母校勤務の広瀬由貴さんから寄稿いただきました。ご紹介します。

体育祭の応援リーダーの現状と剣道着・袴の寄贈について

第68回体育祭が5月30日(土)に行われました。体育祭実行委員をはじめとした生徒の動きもよく、予定より50分も早く終わりました。伝統ある石神井の体育祭は、生徒の質とともに、ここ数年で大きく変わってきました。

私は8年前に母校に赴任し、まさに石神井の転換期の真ただ中に身を置いています。2008年に

標準服が導入され、3年前に標準服が制服に変わり、今年度の1年生で全学年が制服着用となりました。“新生石神井”の誕生です。

体育祭の応援団は（現在は「応援リーダー」という名称になっていますが…）以前から、3年生の学ラン・袴のレンタル料が高額ということが話題になっていました。そこで同窓会にお願いして

教育支援基金から援助していただけないか、と役員会に諮ったところ、様々な意見が出ましたが、途絶えつつあった応援団を継承していくことを条件に援助していただけることになりました。

なぜ伝統の応援団が途絶えつつあったのか…。昨年の第67回体育祭では応援団は3年生のみで、石神井応援歌や各団応援歌が下級生に継承されなかったからです。これにはいろいろな事情があり、応援団が消滅するのではないかという危機的な状況だったのです。

8年前に私が赴任した当時の応援団は、体制や体質の面で必ずしも良いとは言えず、テコ入れを考えていました。他校から異動してきた先生方からもいろいろな意見をいただいていたということもあります。

赴任して4年目に生活指導部の体育祭担当となり、第64回からの3年間で少しずつ改善してきたつもりでした。なぜか応援団幹部の4人（男女2人ずつ）が走っていたスウェーデンリレーを団で選抜された生徒が走る本来の形に戻しました。

応援団については「ダメなところは直し、残すべきところは残す」というスタンスで、ようやく改善が軌道に乗ってきた矢先、応援団が全否定され、存続自体が問われる事態が起きました。神経をすり減らしながら生徒と対峙し努力してきたことがすべて水の泡と化し、消滅寸前になったのです。

応援団のやり方（3年生の下級生に対する指導の仕方）に問題がある、特権意識が芽生えて何でもアリになっている、ガラが悪い、応援団のための体育祭じゃない、など、応援団に対する厳しい意見が噴出したのです。（私も同感するところもありました。）そこで、体育祭を再検討する委員会が立ち上がり、私はその委員として応援団を存続させるべく関わってきました。「一度応援団を絶つべきだ」「やり方を改善して残そう」などいろいろな意見が出ました。再三の話し合いの末、昨年は3年生だけで応援団を構成することになり、消滅だけは避けられました。しかし、これでは応

援歌が代々継承されていきません。その状況を同窓会の役員会で報告すると、石神井の体育祭はこれまで石神井の伝統の一つを担っていたはず。その中で応援団が果たしてきた意義も大きい。ダメな部分があるのなら改善して何とか継承してほしい。という声が多数聞かれました。

その後紆余曲折がありましたが、今年は2・3年生で応援団を構成することができました。すると、昨年3年生だけで応援団をやった67期生が、卒業後にもかかわらず68期生のために振りを教えに来てくれたのです。昨年のうちからお願いはしていたのですが、団

の応援歌を継承するにはこの形しかなく、応援団経験者の私にとっては、67期生のみなのに感謝感謝。途絶えかけた応援団が何とかつながった瞬間でした。

今まで少しずつ改善をしてきた応援団は、昨年から応援リーダーという名称になりました。練習では理不尽なことや無駄なことを排し、ひたすら声出しと振りに徹し、エール交換では応援リーダーだけでなく、団の全員が他の団にエールを送りました。石神井応援歌も、私が卒業してからいつの間にか振りが大幅に変わってしまい、応援“歌”ではなくなっていたのを、応援“歌”に戻して結団式や開会式で歌いました。振りも元通りに戻り、昔ながらの雰囲気を残した“新生石神井”の応援リーダーになりました。

女子用の剣道着と袴は、ひもで調節ができるということで、それぞれ50着（2サイズを25着ずつ）を購入、合わせて約42万円のご支援をいただきました。写真は今年の赤団の副総団長と副応援リーダー長です。袴には、「同窓会寄贈」という文字を入れました。

男子の学ランは、決まったサイズで購入は難しいということで今回は見送られましたが、生徒の個人負担は半分に減りました。同窓会の方々に改めてお礼申し上げます。本当にどうもありがとうございました。

広瀬 由貴（高校39期・石神井高校勤務）



8期近況報告(昭和31年3月卒業)

鬼沢 英雄

77歳の「喜寿」を通過中です。健康を取り戻しました。長年の無茶な酷使の為か腰の治療だけは長引いてますけど内臓関係は無事に収まりました。去年、腰と大腸でまさかの病气入院を2回も経験して「喜寿」越えのハードルに苦戦した次第です。

趣味で楽しんでいる混声合唱団の定期演奏会の直前に倒れ、前夜のゲネプロも済ませて、翌日の衣装も合わせて後は本番待ちのその夜中に大腸炎出血。緊急入院のハメになって、2年もかかってやっと覚えた新曲(龍ヶ崎混声団の委嘱作品で本邦初演)もアウト。病室の白天井を眺めているだけでした。

どうも大腸の方は持病らしい。5年程前もやはり発病して回復に手間取った事を思い出しました。

さて、8期恒例の「エイト会懇親会」も順調に開催され、元気者が関西や東北あたりからも参加があってメンバーも安定しつつ盛り上がっております。

2014(H26) 10月 新宿の代々木倶楽部で43名
 2013(H25) 11月 横浜中華街の清香園で43名
 2012(H24) 10月 新宿三井ビルで55名
 2011(H23) 10月 新宿スターホテル東京で50人
 特に去年の新宿代々木では、天下の代々木公園でしたので、強力な「蚊」の出現を用心して参加数も危ぶまれたものの、多数の元気印に恵まれました。



平成26年10月 代々木倶楽部にて

ゴルフ仲間の「牛歩の会」も健康にプレーを続けております。「喜寿」の同級生達と聞いてキャディさんも驚いてますが、ゴルフは程良い体力が年配組に合っているのが長続きしそうです。

発会以来ハンデ戦方式で戦ってきましたが、最近の成績が以下のところで、その後は新ペリア戦に変更となりました。

第60回 H25.11.20 優勝 大熊雄喜(岡部)

第61回 H26. 5.29 優勝 鬼沢英雄(都留)

雷雨にて午前のみ

今後は新ペリア戦に変更

第1回 H26.10. 2 優勝 川崎 伸(岡部)

第2回 H27. 3.30 優勝 安倍敬三(岡部)

後期高齢者になって、各ホールで大叩きしても一向に平気です。ここは隠しホールだからと強気なもの。表彰寸前まで優勝者が不明というのがいいですね。



平成26年10月 岡部CCにて

囲碁キチクラブのご報告。毎月第3火曜日に西東京市の保谷駅前、3階建ての碁会所「天空」に集まっています。以前は第4だった火曜日から第3にかわりました。終われば隣のビル4階の居酒屋で反省会と、コースも決まっています。

囲碁には参加しないが反省会には出席も、歓迎ですとの事。私も懇親会だけ時々楽しんでます。年に2回ほどは、都内の中野に場所を移して楽しんでいるとのこと。今井正武君が幹事です。

最後に校歌祭のご報告を。日比谷公会堂から杉並の公会堂に会場が変わって豪華絢爛。

初めてのステージでしたが歌いやすく、終わっての懇親会も若さいっぱいの元気をもらいました。

17期(昭和40年卒)「卒業50周年記念同期会」のお知らせ

来る平成27年8月23日に開催致します。今年は皆さんが昭和40年(1965年)卒業して、ちょうど半世紀の記念同期会となります。奮ってご参加頂き

旧交を温めて頂ければと考えております。50周年記念同期会の開催要綱は下記の通りです。

(同期会会長 上野俊彦)

記

1. 場所 レストラン「あおしま」(青山一丁目0番出口青山ビルB1)
2. 日時 平成27年8月23日(日)15時から2時間の予定
3. 会費 5,000円
4. 連絡先 幹事団世話役(石神井高校同窓会会長)大久保利一
〒178-0064 練馬区南大泉3-1-7

バスケットボール部OB・OG会

☆H26年度活動報告☆

◇8月29日(金)第5回石神井・大泉現役交流戦&合同OB・OG戦 in 代々木第2

◇11月29日(土)大忘年会(於:青山一丁目「あおしま」)

◇3月21日(土)納会(石神井高校会場)／懇親会(大泉学園勤労福祉会館)

<その他 有志活動>

①現役の試合応援 ※新人戦は、男女揃って年越しをしました。

②ハイキング同好会:春の鎌倉お花見ハイキング
7月19日~21日／八方山行&現役北軽井沢合宿陣中見舞い／秋のトレッキング(陣馬山、昇仙峡)／大山紅葉狩りハイキング／H27年度も4月に逗子~鎌倉お花見ハイキング実施

③バスケの会(11期~18期有志):秋の懇親会10/25・新年会1/17

④同期バスケの会 多数

※イベントへの多くの皆様のご参加をお待ちしております。併せて、OB会費(3千円)と現役援助費(一口千円)のご協力もお願い致します。

☆H27年度活動予定☆

◇8月14日(金)第5回石神井・大泉現役交流戦(13時~)&合同OB・OG戦(16時~) in 代々木第2

※今年度は8月15日より国際大会の為、お盆時期となりました。お盆休みの半日、現役のプレー観戦、OB・OG戦の参加や観戦~懇親会に足を運んでみませんか?多くの参加をお待ちしています。

⇒詳細:同窓会HP・OB会掲示板

◇11月28日(土)大忘年会 18時~(「あおしま」)

◇3月第3週(土)予定 納会

<その他 有志活動>

①現役の試合応援:今後の夏季大会(女子)・新人戦・来春の関東大会予選・総体予選と、69・70期の応援よろしくお願ひします。

②☆現役合宿陣中見舞い...7月20日(月・海の日)

☆夏の山行...黒菱山荘 8月9(土)・10(日)泊
参加者募集中!!

☆紅葉狩り／お花見 等

③バスケの会 秋の懇親会(10月予定)・新年会

30期総務担当 加藤 純子

お問合せ先: shakujibasket@yahoo.co.jp



写真左:
バスケの会の
新年会

写真右:
新卒67期生
(3月納会)

32期(昭和55年卒) 同期会のお知らせ

もうすっかり年中行事となった高校32期の同期会を今年も開催します。会場の中野サンプラザは東京五輪に合わせた解体が検討されていますね。多くの方のご参加をお待ちしています。

1. 日 時：10月17日(土曜) 18:00~22:00
2. 場 所：中野サンプラザ
3. 会 費：8,000円くらい
4. 連絡先：浦川 urakawas@za.wakwak.com

事務局便り

■同窓会が同期会の開催を支援します

同窓会の費用負担で、葉書・封書の宛名シールを幹事の方にお送りします(年1回まで)。開催費用などについてもご相談ください。また同窓会ホームページ「webきずな」で開催告知を掲載します。

本ページ下段に記載の「webきずな」または「同窓会代表電話」でご連絡ください。

▼卒業周年を記念した同期会はいかがですか▼

| | |
|------|--------------------|
| 10周年 | 高校57期(昭61生/平16卒) |
| 20周年 | 高校47期(昭51生/平6卒) |
| 30周年 | 高校37期(昭41生/昭60卒) |
| 40周年 | 高校27期(昭31生/昭50卒) |
| 50周年 | 高校17期(昭21生/昭40卒) |
| 60周年 | 高校7期(昭11生/昭30卒) |
| 70周年 | 中学3期(大14・昭元生/昭20卒) |

※生年は遅生まれ表記/早生まれは1年加算

■会費納入と寄付金のお願い

会費は年2,000円です。何年も払うのを忘れていても遡って払う必要はありません。今年からで大丈夫です。ご好意で2~3年遡って…は大歓迎で

す。寄付金の振込用紙も同封しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

■OBOG会の情報をお寄せください

今回は、石吹のOBOG会活動をご紹介しましたが、今後いろいろなOBOG会活動を取り上げていきたいと思えます。自薦他薦を問いませんので、OBOG会の情報をお寄せください。また、『歴代生徒会長の会』『歴代応援団の会』も設立したいと思えます。こちらに関する情報も是非お寄せ下さい。ご連絡は、副会長 勝見(下記の同窓会代表電話またはsuzuyo@vin-mousseux.com)まで。

■実名を名乗る詐欺電話にご注意ください!

卒業生名簿を悪用したと思われる詐欺が複数発生しており、被害総額は1,200万円を越えています。卒業生の実名を名乗り「携帯を変えた」という電話の後に「現金を振込んで」と連絡が来たり、警察や弁護士を名乗り「ご子息が会社に迷惑を掛けた」と偽り現金、通帳、カードを受け取る手口。こうした電話があったら、必ず本人(元の電話)に確認し110番してください。

住所変更など、同窓会へのご連絡は…



◆「ウェブきずな」 <http://www.shakujii-club.gr.jp/>

◆「同窓会代表電話」 050-3736-9490

発信番号通知を設定するか050の前に186を付けてお掛けください。

◆石神井高校同窓会事務局

〒177-0051 東京都練馬区関町北4-32-48 都立石神井高校気付



Webきずな



11月1日、第22回東京校歌祭に参加しました

杉並公会堂で開催された東京校歌祭。中学2期の戸張敦雄先輩をはじめとする同窓生と石吹（石神井高校吹奏楽部）の現役+OBOGが参加し、旧校歌と現校歌を熱唱しました。現役の最年少は高校69期ですから、年の差70歳超のコラボレーションでした。

終了後は現役と卒業生が一堂に会して、世代を越えた懇親を楽しみました。全員で校歌を斉唱後、石吹の部長（68期）挨拶と8期鬼澤さんのエールで閉会。楽しそうに誇らしげに校歌を歌う現役生を見て、石神井のDNAが脈々と息づいているのを感じました。

▼懇親会風景：クラブイン荻窪プレジール▼



↑8期と9期と10期です ↑OBは直立して、現役はスイングして、校歌を歌います ↑吹奏楽部部長の挨拶 ↑鬼澤さんの挨拶とエール

♪ 今年の校歌祭、一緒にいかがですか ♪

日 時：2015年11月3日（祝）12時開場／12時3分開演（入場無料）

会 場：杉並公会堂（荻窪駅から徒歩7分）← 今年も日比谷公会堂ではありません。ご注意を！

出演同窓生の集合：12時30分 杉並公会堂 ロビー受付

問合せ：同窓会050-3736-9490（発信番号通知を設定するか、050の前に186を付けてお掛けください）

懇親会：「ルースター・ノースサイド」14時30分～17時30分 Tel：03-5397-5007

杉並区上荻1-24-21 協立第51ビルB1 <http://www.ogikubo-rooster.com/north/>

懇親会費：2,000円／現役生と63～67期は無料

♪時間の変更などもありますので、「webきずな」(同窓会ホームページ)も併せてご覧ください♪

「きずな」第64号 発行人：大久保利一 編集人：橋本恒夫 発行所：東京都立石神井高校同窓会
〒177-0051練馬区関町北4-32-48 都立石神井高校気付 電話050-3736-9490
ウェブきずな：<http://www.shakujii-club.gr.jp/> 印刷所：株式会社 文明社